

2013



—赤レンガ100周年—

2013年4月 大谷大学広報第189号 大谷大学通信第76号 編集 大谷大学広報編集委員会

じんげん ア ジ ー ル asile

春夏号
2013
大谷大学広報誌

これからの国際化社会が求める「人間力」



Special Discussion

真の異文化交流が育む 国際化時代を生き抜く人間力

2012年10月、韓国の京畿^{キョギ}大^ギ学校観光教育院と学術交流協定を締結した大谷大学。今後、活発な学生交流と、相互の教育効果の向上が期待されています。この新たな縁に大きく尽力されたのが、本学で博士号を取得し京畿大^ギ学校観光教育院の教養学科長を務める金明珠さん。国際化時代に向けたこれからの学びとは何か、草野学長と共に語り合っていました。





大谷大学
学長
草野 頤之
くさの けんし

京畿大
観光教育院
教養学科学科長
金 明珠
キム・ミンジュ

専門分野／日本仏教史(中世)・真宗史。1976年3月大谷大学文学部(史学科)卒業。1981年3月同大学院文学研究科(仏教文化専攻)博士課程満期退学。2003年博士(文学)(大谷大学)。学生部長、学監・文学部長などを歴任し、2010年4月より第27代学長。

東國大(慶州キャンパス)国文学出身。大谷大学にて仏教文化を専攻し、2000年修士課程修了、2006年博士学位取得。帰国後、東國大非常勤講師などを経て、京畿大で観光学博士学位を取得。現在、同校の観光教育院教養学科学科長。

8年間の留学で感じた 先生や仲間の温かさ

草野 本学が新たに学術交流協定を結んだ京畿大(キョンギ)校観光教育院は、観光経営やホテル経営など4学科があり、観光教育を行う大学としては韓国でも有数の学校ですね。

金 はい。京畿大の創設は約60年前。これまで1万人以上の卒業生を輩出し、たくさんの人材が観光ビジネスの分野で活躍しています。私は京畿大の観光教育院の教養学科長として海外インターンシップや国際交流、外国語教育の推進を担当しています。大谷大学は日本文化を代表する観光都市である京都にあるので、今回の協定を機に留学を希望する韓国留学生も増えることでしょう。

草野 金さんご自身も、韓国からの留学生として8年間本学で学ばれましたが、その時のご経験で印象的だったこと、今につながっていることはありますか？

金 そうですね。私が大谷大学で博士号を取得したのが7年前。当時、韓国の留学生は3名でしたが、先生や周りの皆さんがとても親切に暖かく応援して下さいました。お陰で頑張ることができました。覚えています。そして、アメリカでの語学研修を通してたくさんの方と交流ができたこと。大谷大学のキャッチフレーズは「人間が大好きです。」ですが、「大好き」は私の一番好きな日本語。人と人が関わり信頼の絆を結ぶことは人生においてかけがえない財産となるし、だからこそ国際化時代を生き抜くために必要なことだと私は思います。短い単語のやりとりであっても、お互いを理解しようと歩み寄る…それが国際化の第一歩かなと。

本当の異文化理解は 本国文化を知ることから

草野 おっしゃられるように、国際化時代においてコミュニケーションは極めて重要になりますね。そして、そのために必要なのが、お互いを理解し合うということ。外国に興味を持っている人は、ややもすると自国の文化への理解が疎かになってしまいがち。しかし、異文化を理解する前に、まず自国の文化を知り、しっかりと伝える必要があると思うんです。

金 確かに、一方的に相手のことを知るだけでは、交流は生まれませんよね。

草野 それと同時に、自国文化との比較検討があつてこそ、異文化をより深く理解できる。今後10年間の基本方針となる「グランドデザイン」で、『自国の文化を尊重しながら、異文化理解ができる学生の育成』を掲げたのもそのため。これから学ぶ学生の皆さんには、その点をしっかりと理解して欲しいですね。

金 私が韓国で取得した観光学博士の論文も、自国文化と他国文化の比較をテーマに執筆しました。今や世界遺産となった安東(アンジュン)河回村に関する内容で、95年に世界遺産に登録された日本の白川郷をモデルにして、文化遺産をどう守り次に受け継いでいくかをまとめました。日本での学びを自国へと活かし、社会に役立てられることは大きな喜びにつながっています。

草野 まさに、これこそがこれからの国際化社会が求める「人間力」ではないでしょうか。本当の意味での異文化交流は、きつと自らの可能性を広げてくれるはずですよ。

互いに学び合う心が 未来へとつながるように

草野 ところで、2月12日〜15日の4日間、協定後はじめての試みである短期研修会が行われましたが、手応えはいかがでしたか？

金 大成功でした。京畿大観光教育院からは10名、大谷大学からは23名が参加。湖西キャンパスセミナールハウスに宿泊して、2月13日は滋賀県にある韓国ゆかりの地を訪れ、14日はチームに分かれて京都の文化財を見学しました。学生たちが本心に楽しそう、お互いの言葉が分からないなりに一生懸命に会話していたのが印象的。それにしても、大谷大学の学生の皆さんは韓国語が上手で、驚きましたね。

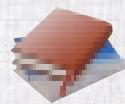
草野 滋賀県の韓国ゆかりの地といえば、朝鮮通信使の朝鮮人街道や湖北にある雨森(あめのもり)芳洲庵(ほうしゅうあん)ですね。

金 ええ。そうした歴史に触れ学ぶことは大事です。さらに、学生同士が積極的にお互いの文化を学ぼうとすることは、とても大きな意味があると改めて実感しました。セミナールハウスでは韓国の民族衣装「チマチヨゴリ」を日本の学生が、日本の民族衣装「キモノ」を韓国の学生が着て、みんなで撮影大会も。楽しみなが、異文化を学ぶ素晴らしい機会となりました。

草野 この成功を機に、今後さらに魅力的なプログラムを数多く用意していきたいですね。

金 私が学生だった頃もそうですが、大谷大学には安心して学べる素晴らしい環境が整っています。ぜひそれら大いに活用し、たくさんの方と学ばせ、そして、かけがえない人と人との絆を築いて欲しいと思います。

私たちのキャンパス紹介



尋源館 / じんげんかん

1913年に竣工され、今年100周年を迎えます。赤レンガの外装が特徴的なシンボルの建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

至誠館 / しじょうかん

教務課・学生支援課・キャリアセンター

大学内の職員室のような場所。奨学金のことや試験のことで分からないことがあった時など、困った時には至誠館へ。

響流館 / こいうかん

購買部 / セブンイレブン

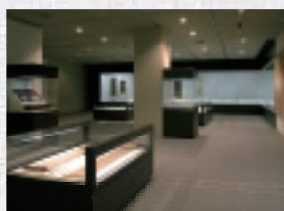
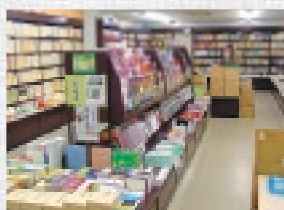
大学構内に、購買部としてセブンイレブン大谷大学店が営業しています。谷大グッズや大学生活で必要な文房具等を購入することができます。

学内書店(文栄堂)

教科書や辞書をはじめ仏教関係の専門書、新書、文庫本から雑誌まで揃えています。またレポート・卒業論文等に必要で大谷大学論文用紙も販売しています。

博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、他分野にわたる史・資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。



1F

B1F

B1F

1F

調べ物は全部ココで!



山本 翔
(仏教学科 第3学年)



図書館

響流館/B1・B2・1・2F

ここには多くの図書が所蔵されています。中には他大学の図書館ではなかなか閲覧できない貴重な本もありますので、ぜひ利用してみてください。

ホッと一息できる場所。



宮本 敬子
(歴史学科 第4学年)

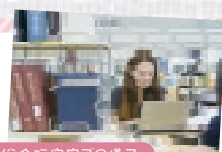


Big Valley Café (学生談話室1)

1号館/1F

パンやドリンク、サラダにケーキまであり、毎日通いたくなる品揃えです。落ち着いた雰囲気、空き時間にのんびり過ごせる、癒しの空間です。

キャンパスカレンダー



総合研究室の様子

8月

●夏休休暇



5月のキャンパス風景

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 若業祭
- 前期授業開始
- Web聴講登録



入学式後の様子

9月

- 集中講義
- 後期授業開始
- 聴講登録修正

7月

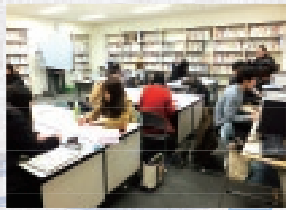
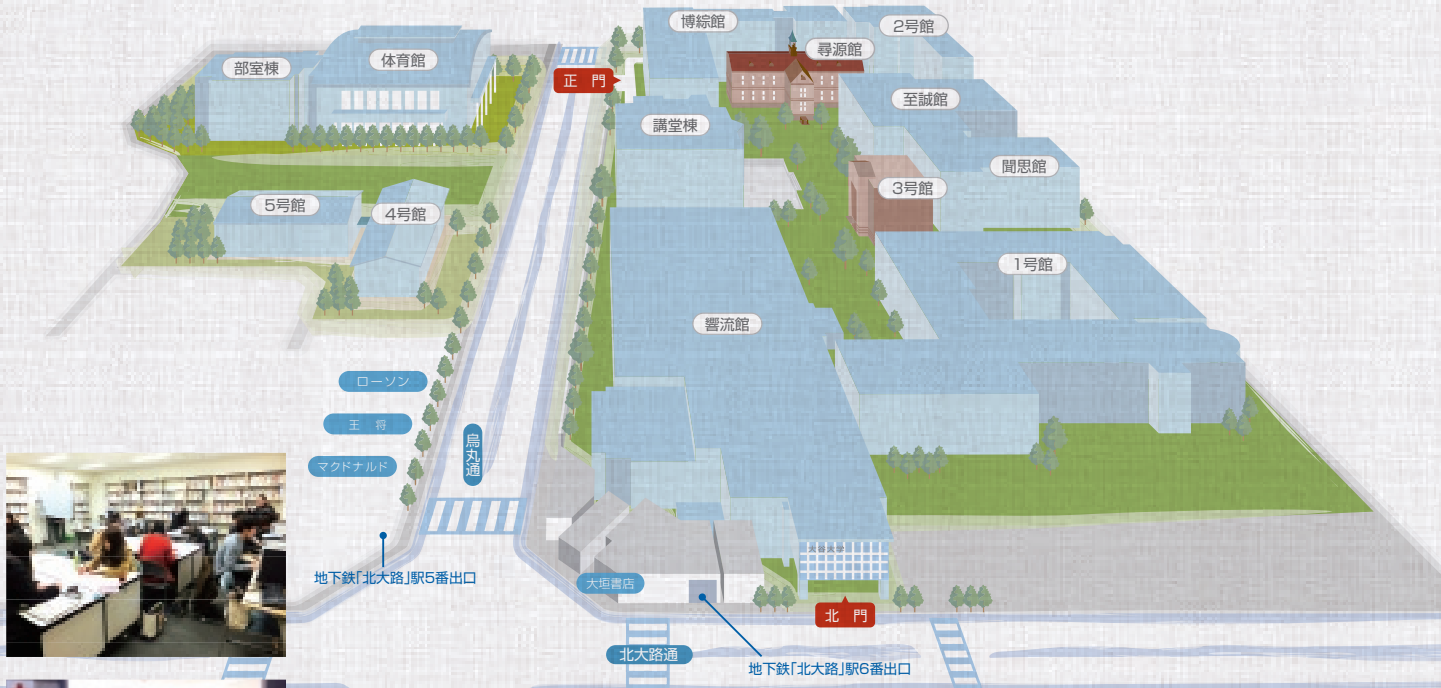
- 「卒業論文」「卒業研究」題目届提出
- 前期定期試験

6月

- 宗祖誕生会



4月のキャンパス風景



部室棟
部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているの、とんどん訪ねてみてください！

部室棟

4号館
教職支援センター
免許取得や教育実習について相談のつてくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試験に関する資料も多く、パソコンも使用できるのでぜひ利用してみてください。

北大路VIVRE パスターミナル スターバックス

博綜館 / はくそうかん
保健室・学生相談室・人権センター
学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。

語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)
留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベント等を実施しています。

パソコンも使って便利。



総合研究室

ここではパソコンやコピー機などが利用できてとっても便利!さらに、助教の先生方のデスクもあり、様々な面から学生のサポートをさせていただきます。

響流館/3F



竹田 裕衣子 (哲学科 第4学年)

安く美味しい!



学内食堂

二種類のランチセット以外にもカレーや丼にサラダ、和え物小鉢でマイ献立でも500円以下! 悩んだらとろあえずうどん70円! 朝、夕食セットもあり飽きません。

講堂棟/B1F



辻井 潤 (人文情報学科 第3学年)



1月のキャンパス風景

12月

- 「卒業研究」提出 (仏教科・幼児教育保育科)
- 冬期休暇



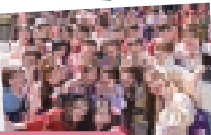
11月のキャンパス風景

10月

●開学記念日

3月

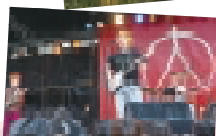
- 卒業証書・学位記授与式



卒業式後の様子

1月

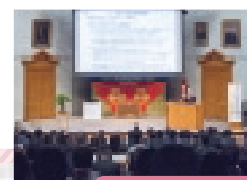
- 「卒業論文」提出
- 後期定期試験
- 卒業論文口述試験



学園祭の様子

11月

- 学園祭「紫明祭」
- 大学報恩講



開学記念式典の様子

Pick Up! クラブ活動



(写真提供:大谷大学新聞社)

好きなことに、
思いきり夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。
だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。
学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、
たくさんの友達と共有できる時。
「好き」ということに、とことんこだわると、
あなたの人生はきっと豊かになる。

華道部

部員数...12名(男1名 女11名)
所属団体...池坊流
活動日...月2回
顧問名...浦山 あゆみ

私たち華道部は、月に二回、池坊の先生をお招きして、いけばなを習っています。いけばなには、自由に花を生ける「自由花」や、決められた形で花を生ける「生花」など、様々な花形があります。部活中に生けた花は、学内のいろいろな場所に展示しています。また、稽古の日でなくても自主練習の時間をつくり、個人で花を生けることもできます。後期の活動としては、展示会の開催も考えています。性別や経験は問いませんので、ぜひ体験をしに来てください。



主な年間スケジュール

- | | | | |
|----|----------|-----|-------|
| 4月 | 新入生歓迎展示会 | 11月 | 学園祭展示 |
| 8月 | 展示会 | 2月 | 卒業展 |

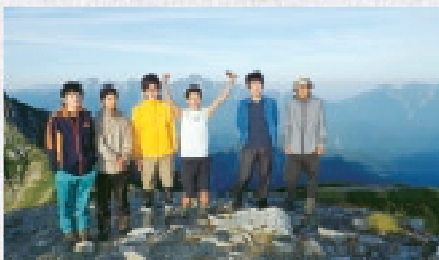
ワンダーフォーゲル同好会

部員数...10名(男10名)
所属団体...なし
活動日...トレーニング週1回(火)
ミーティング・天気図作成 週1回(金)
練習 月2・3回(土日)
顧問名...鈴木 寿志

ワンダーフォーゲル同好会は、登山を中心としたアウトドア系サークルです。6月から8月にある連休には滋賀県の比良山へ行き、そこで山の登り方や道具の使い方などの練習を行い、登山に慣れます。夏休みは日本アルプスで一週間程の合宿を行います。後期は、雪山には行きませんが、秋山行やキャンプを行います。日々の主な活動は体力作りと天気図作成です。登山が未経験の方でも体力に自信のない方でも、日々の活動で十分山に登ることができそうです。

主な年間スケジュール

- | | | | |
|----|--------------------------------|-----|---------------------|
| 4月 | 新入生お試しハイキング(大文字山) | 8月 | 夏山合宿(日本アルプス) |
| 5月 | 新入生歓迎キャンプ(百井青少年村) 練成(比良山系(滋賀)) | 11月 | 秋山行(京都周辺の低山) |
| 6月 | 練成(比良山系(滋賀)) | 12月 | 冬キャンプ(D's wood(滋賀)) |
| 7月 | 練成(比良山系(滋賀)) | 2月 | 部報「狼峠」作成・発行 |



2012年度秋季大会結果

※学生の学年は、大会時のものです。

卓球部

- 秋季京都九大戦
男子シングルス 3位
岩崎 雄一郎／仏教学科第4学年
男子ダブルス 3位
岩崎 雄一郎／仏教学科第4学年
西川 航平／文学科第4学年
- 関西学生卓球秋季リーグ戦(男子)
4部Bブロック2位

硬式野球部

- 第20回全京都大学野球トーナメント大会
2回戦敗退
- 平成24年度京滋大学野球秋季リーグ戦
1部5位

跆拳道部

- 第8回日本橋オープンテコンドー選手権大会
-58kg上級 準優勝
南木 心／真宗学科第4学年

陸上競技部

- 第29回全国スポーツ祭典陸上競技大会
一般男子走高跳 3位
村上 無量／真宗学科第2学年
一般男子走高跳 4位
金子 修／仏教学科第2学年

剣道部

- 第44回全日本仏教系大学女子剣道大会
個人戦(女子) ベスト8
森谷 萌／文学科第1学年
- 第60回関西学生剣道優勝大会
団体戦(男子) 2回戦敗退

バドミントン部

- 関西学生バドミントン秋季リーグ戦(男子)
6部Aブロック4位
- 京都学生バドミントン選手権大会
女子シングルスB級 優勝
植谷 美月／哲学科第3学年

ソフトテニス部

- 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦
6部Cブロック3位

バスケットボール部

- 平成24年度
関西学生バスケットボールリーグ戦(男子)
6部Bブロック4位
- 平成24年度
関西女子学生バスケットボールリーグ戦
4部1位

サッカー部

- 第90回関西学生サッカーリーグ
3部6位

アメリカンフットボール部

- 関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦
3部Eブロック4位



(写真提供:大谷大学新聞社)

陸上競技部

部員数... 11名(男8名 女3名)
所属団体... 関西学生陸上競技連盟
活動日... 週5回(月、火、水、金、土)
活動場所... 大谷大学東側キャンパス広場 / 大谷大学湖西キャンパス / 大谷大学トレーニングルーム等
顧問名... 富岡 量秀

私たち陸上競技部は、選手10名、マネージャー1名の計11名で日々の練習に取り組んでいます。練習場所は主に東側キャンパス広場ですが、湖西キャンパスに行くこともあります。また、学外の競技場に行つて練習をすることもあります。練習メニューは自身で考えて行うため、効率的に練習を行うことができ、またその分、上達も自分の意識次第です。経験者はもちろん、未経験者でも大歓迎です。ぜひ一度体験をしに来てください。

主な年間スケジュール

- 5月 関西学生陸上競技対校選手権大会
- 6月 学連競技会
- 10月 関西学生陸上競技学年別選手権大会

アメリカンフットボール部

部員数... 5名(男4名 女1名)
所属団体... 関西学生アメリカンフットボール連盟
活動日... 週5回(火・水・金・土・日)
活動場所... 大谷大学湖西キャンパス他
顧問名... 宮下 晴輝

私たちアメリカンフットボール部は、5名という人数が少ない中、日々頑張っています。アメフトというと危険、難しいといったイメージがあるかもしれませんが、実際はそうではありません。一つ一つが専門に分かれていますので、走るのが得意、投げるのが得意、捕るのが得意など、一つでも得意な事があれば十分通用します。チーム名はBANDITS(バンディッツ、盗賊集団を表す)といい、「勝ちを盗る」と意味を込めて付けました。いつでも体験しに来てください。私たちBANDITSの一員となり、リーグ優勝目指して頑張りましょう。

主な年間スケジュール

- 6月 関西学生西日本大会
- 9月 関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦

私たちの先生

学生一人ひとりとしっかり向き合い親身にサポートしてくれる頼れる存在。



文学科 教授

村瀬 順子

1954年、兵庫県生まれ。京都大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了。イギリス・レスター大学大学院英文学専攻修士課程修了。文学修士。1980年、大谷大学文学部助手。専任講師、助教授を経て、1999年より大谷大学文学部教授、現在に至る。

専門／英文学・英米文化

文学科には国文学、中国文学、英文学、ドイツ文学の4コースがあり、2年次から希望のコースに分かれます。「英語が好き」「英文学に興味がある」という学生はもちろん、「異なる文化的背景から生まれた文学作品を通して、異文化理解と自文化の再発見、その両方を学ぶ」という村瀬先生のお話に魅力を感じて、英文学コースを選ぶ学生も少なくありません。

3、4年次で行われる村瀬先生のゼミは、学生自身が作品について発表を行い、みんなで質問する質疑応答スタイルです。人の発表を聞くことで自分が興味のある作品だけでなく、より多くの作品について理解を深めることができるし、自分の研究についても違った角度から意見をもらうことで、より深く考察していける点も面白いところ。全員が授業に参加し共に考え議論することで、人に伝える力、理解する力、より深い探究力が身に付いていきます。



紹介してくれた文学科・英文学コース 村瀬ゼミ(第4学年)のみなさん

先生から学生たちへのメッセージ

将来、実際に海外に出ていかないうまでも、広い視野で物事を捉え、異なる文化や価値観を理解し、深く洞察する力は、これからの国際化社会に必要な力だと思います。異なる文化的背景から生まれた海外の文学作品はもちろん、質疑応答もその力を養うためのもの。自分とは違う視点や価値観を知ることによって、より自由で柔軟な思考や発想につながって欲しいと願っています。そのためにも、みんながざつとばらんに何でも語り合える雰囲気を作りたいですね。授業中でも世間話をするような気さくな感じで質問が飛び交えば、学びの場はもっともっと楽しくなるでしょう。自国の文化や自分自身の中だけに閉じこもらず、広い世界に目を向けて、新たな発見へとつながってください。

キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。



今年の就職環境は？

現在の就職環境は、若干好転しているとの報道がなされています。しかし、経済情勢は、今なお先行きが不透明であり、企業が厳選採用を行っているため、引き続き大変厳しい状況にあります。また、経済情勢の不安や企業の採用動向だけが要因ではありません。実は、多くの学生が社会に出て働くことへの意識や志望動機が曖昧なまま、就職活動に臨んでいることも大きな要因となっています。

将来、自分らしさを発揮した生き方を実現するためには、まず自らを知ることが大切です。そのうえで、学生時代に、①社会を主体的に生きること意識し将来の人生設計(キャリアデザイン)を行うこと、②社会で求められる力を身につけることが必要となります。

キャリアセンターを 活用しよう

キャリアセンターでは、学生自身が自らを理解し、それぞれが描いたキャリアデザインを実現できるよう、個別相談をはじめ、さまざまな支援を行っています。特に就職活動においては、求人情報や企業情報を提供するとともに、社会で求められる力やマナーなどを身につけるためのプログラムを用意しています。もちろん、短大部からの編入学や大学院への進学などについての相談にも応じます。自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用してください。

キャリアセンターの サポート

求人情報・企業情報の提供

本学に届く求人情報は、「進路・就職システム(大谷大学就職ナビ)」「登録が必要で公開し、パソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからもアクセスすることができます。また、資本金や経営業績などの企業情報、過去の入社試験情報も提供しています。

キャリア形成支援プログラムの実施

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもつて大学生活を送るため、また、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるために、インターンシップ、資格対策講習などのキャリア形成支援プログラムを提供しています。

個別相談・模擬面接

キャリアセンターのスタッフが進路相談や応募書類(履歴書・エントリーシート)の作成・添削、模擬面接など、学生一人ひとりに応じたアドバイスをを行っています。

就職ガイダンスや 各種対策講座の実施

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるための情報提供や就職活動に必要なスキル、マナーを身につけるための実践講座を実施しています。

就職活動体験記

私が学生生活において大切にしてきたことは、人との関わり(人間関係)を大事にすること、そして積極的に他学科の授業を受け、視野を広げることです。学生生活では計画的に単位を修得し、先を見据えて早期からキャリアセンターの活用や資格の取得に力を入れました。また、アルバイトでは、様々な立場の人たちとの関わりを通じて、礼儀や人との接し方を学ぶことができました。そして、何ごとにも積極的に取り組んだ結果、自分に誇りを持つことができました。就職活動では、素直に自らの考えを熱意を込めて伝えることが一番大切だと学びました。自分にしかないオンラインワンを大切に、信念を持って取り組んだ結果、第一志望の企業から内定をいただくことができました。何事にも挑戦し、悔いのない充実した学生生活を送れたからこそ、今の自分があります。まずは自分に関わる人に感謝し、一歩一歩着実に目指す道を見つけてください。



2013年3月
文学部国際文化学科卒業
前田 剛志
内定先:
安心ライフ株式会社

キャンパストピックス

イベント開催報告

2012年10月27日(土)

「食育講座&料理教室

〜つくって美味しい旬のもの〜

を開催

本学では、昨年度より健康アンケートの実施や食育イベントを開催し、食育推進に関する取組みを進めています。この食育講座&料理教室は、昨年度に引き続き2回目となり、今回は栄養バランスが優れた日本型食生活の推進をテーマに、近畿農政局、株式会社典座の協力のもと開催いたしました。

14名の学生が参加し、食育講座では、管理栄養士による栄養バランスについての講義、近畿農政局職員による旬の野菜についての説明があり、地産地消の重要性などを聞きました。また料理教室では、学内食堂の通崎店長から米のとり方や野菜の切り方を教わりながら、京都米の新米を使つてのごはん、さんまの生姜煮、具だくさんの味噌汁、ほうれん草のおひたしを作り、秋の旬の食材をたっぷり味わいました。

参加後のアンケートでは、旬の食材の美味しさ、魚料理を初めて経験したことや調理することの楽しさ・喜びなどの感想が多く見られました。



2012年11月9日(金)〜11月11日(日)

2012年度大谷大学学園祭

「一束一祭(いっそくいっさい)」

今年度は、「北大路商店街との連携」として、日頃お世話になっている北大路商店街の方々へ感謝の意を込めて、「東本願寺キャラクター鸞音(らんおん)くんの北大路商店街さんぽ」や「北大路商店街クリーン活動」を実施しました。

昨年度に引き続き「東日本大震災復興支援」も行われました。学園祭期間中のイベント等での募金箱の設置等、多くの方々にご協力いただきました。集まった募金は、この企画にご賛同いただいた企業からの協賛品と、来場者の方々からの応援メッセージとともに、学園祭実行委員会が12月15日に特定非営利活動法人フロンティア南相馬へ持参しました。

また、メインイベントのプロアーテイス「BENI」による無料ライブでは、約1600名の来場者で学内全体が熱気に包まれました。



2012年11月11日(日)

課外教育行事

〈異文化との出会い〉

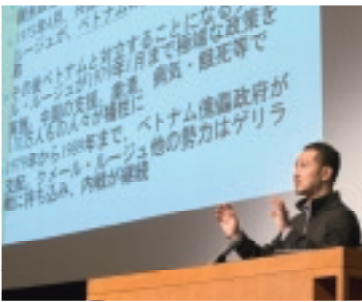
現代カンボジアの「真実」と希望

講演と映画上映会

本学では、〈異文化との出会い〉をテーマに他国の文化を音楽や映画などで幅広く紹介し、異文化理解の助となることを目的とした課外教育行事を、前期と後期に開催しています。

後期は、学園祭期間中に「現代カンボジアの「真実」と希望 講演と映画上映会」を開催し、雨天にもかかわらず約150名が来場しました。

社会学科の阿部利洋准教授による講演「カンボジアの紛争と復興」のあと、映画「僕たち世界を変えることができる。But, we wanna build a school in Cambodia」を上映しました。来場者からは「新聞やニュースで紹介されることが少ないカンボジアの現状や歴史などを理解できた」「同じ地球上で違う生活をおくる人がいることを考えることができた」などの感想をいただきました。



2012年12月16日(日)

2012年度第2回

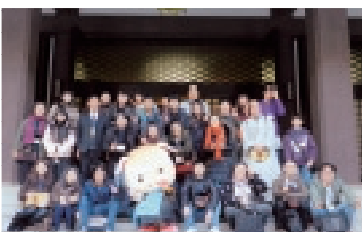
留学生文化交流会を開催

今回は「大阪ミナミで日本文化を学ぶ」をテーマとして開催し、外国人留学生10名、日本人学生14名、教職員10名の合計34名が参加しました。

日本文化体験として、大阪ミナミの千日前商店街道具屋筋にある「デザインポケット」を訪れ、「食品サンプル」の制作を体験しました。その後大阪城で「たこ焼き会席」の昼食を楽しみ、広い城内を散策しました。

南御堂の名で親しまれる真宗大谷派難波別院へ向かい、ワークショップとしてプレスレット型念珠の制作などを行いました。真宗大谷派大阪教区公式キャラクター「ブットンくん」も登場し、お焼香のレクチャーの後、出来上がった念珠を携え、参加者一同で南御堂に参拝しました。

留学生からは、今回の交流会はこれまで比べて日本人学生と話す機会が多かったという感想もあり、交流を深める良い機会となりました。



学科の取り組み

真宗学科

2012年10月27日(土)

「比叡山登山・ フィールドワーク」を実施

真宗学科の第2学年と担当教員が比叡山に登り、法然・親鸞の足跡を辿るフィールドワークを実施しました。紅葉の始まった「雲母坂」を全員が汗を流して登り、約2時間で山上の延暦寺に到達しました。実際に親鸞が通ったとされる道を辿ってみると、若き親鸞の胸中に去来した思いに一步近づくことができましたように感じられました。比叡山上のフィールドワークとして、西塔の常行堂・釈迦堂・浄土院、東塔の阿弥陀堂・戒壇院・大講堂・根本中堂などを巡って参拝し、昼食には食堂で美味しい比叡山蕎麦をいただきました。

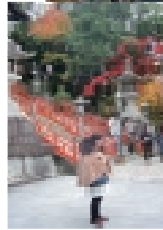
また、今回の登山には、山好きな真宗学科の先輩も数名参加し、学生同士の親睦、教員との交流の良い機会になりました。



仏教学科

2012年11月28日(水)

2012年度 史跡踏査を開催



仏教学会が主催する史跡踏査が行われました。今年度は、當麻寺と信貴山朝護孫子寺とを訪れました。いずれも、親鸞聖人が重視しておられた聖徳太子にゆかりのあるお寺です。當麻寺では、ご住職自ら當麻曼茶羅の絵解きを実演してください、貴重な体験を得ることができました。美しい紅葉が見えるお部屋で昼食に精進料理を頂いた後、書院・茶室に続いて本堂・講堂・金堂を案内していただきました。奈良時代のものが数多く残っており、平安時代や鎌倉時代のものが「新しく」見えてしまうほどでした。その後、信貴山朝護孫子寺に向かい、霊宝館で「信貴山朝護孫子寺」(国宝)について学んだ後、美しい紅葉の境内を楽しみました。

他学科からの先生や学生だけでなく、留学生も数多く参加していつもとは違う視点からも史跡を拝観することができ、総勢49人と大変賑やかな中にも有意義な一日となりました。

歴史学科

2012年8月9日(木)

「久多フィールドワーク」 学生レポート

歴史学科の宮崎ゼミ(第2・3学年)が、京都市左京区久多に伝わる文化についてフィールドワークを行いました。この久多には日本最古の木造五輪塔が発見された志古淵神社があり、また現在大谷大学博物館にて保管されている、鎌倉時代前期の『大般若経』が発見された地域でもあります。宮崎教授とゼミ生は久多に赴き、久多の伝統文化である「花笠踊」「大般若経の転読」「筏流し」の3つに焦点をあて、現地の方々からの聞き取り調査を行いました。

なお、今回の久多地域のフィールドワークについては、2012年8月15日(水)の京都新聞(夕刊)「@キャンパス」でも紹介されました。



→ 詳しい情報は...大谷大学ホームページ
<http://www.otani.ac.jp/kuta>

国際文化学科

2012年12月14日(金)

学内食堂「HAPPY COOK」連携特別企画 体験講座「世界の食文化」



生きていく上で日々欠かせない「食」をテーマとして、学内食堂「HAPPY COOK」連携企画 体験講座「世界の食文化」を開催しました。第1部では国際文化学科教員を講師とし、フランス・チベット・中国・インドの食文化に関する講義があり、「食」を通じて文化の多様性を学びました。また、第2部では会場をBig Valley Caféに移し、講師と受講生で各国の料理を実際に味わいました。

翌週の12月18日(火)〜21日(金)には、イベントの第2弾として、学内食堂において日替わりで世界各地のメニューを提供しました。

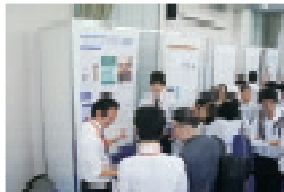
人文情報学科

2012年9月15日(土)～17日(月)

日本教育工学会で
ポスター発表

長崎大学で開催された日本教育工学会第28回全国大会において、本学の人文情報学科3年生4名がポスター発表を行いました。この発表は、文学部人文情報学科の授業「人文情報学特殊演習7」(担当は、松川節教授と平澤泰文非常勤講師。授業テーマは「iPadアプリ開発と博物館ガイドの制作」)の一環として、授業履修学生が行ったものです。

ポスター発表では、大谷大学博物館音声ガイドについて説明しました。このアプリは展示品の鑑賞支援と博物館学習支援を目的に開発されたアプリであり、二ヶ国語の音声と展示物の画像を収録しています。博物館の中を回るときにiPadでこのアプリを使用し、画像を拡大することにより実物より細かい部分を見ることが出来ます。また、搭載している博物館展示内容に関するクイズを活用することによりどれだけ理解できたかを確認できるということを紹介しました。



教育・心理学科

2013年2月2日(土)

地域交流イベント
「おおたにキッズキャンパス」開催

教育・心理学科では、将来、小学校や幼稚園の教員を目指す学生が中心となり、地域交流や施設開放を目的にさまざまな講座やイベントを「おおたにキッズキャンパス」として開催しています。

今回は、水島見一教授ゼミの3年生による「食育講座 節分つてなあに?」を開催しました。受付後、開始までの待ち時間を利用して、近畿農政局よりご提供いただいた食育カルタや食育の紙芝居を利用して有意義な時間を過ごししました。その後、ゼミ生たちが節分や恵方巻きの意味をペープサートで解説し、京野菜である聖護院かぶらを自らの手で収穫しました。そして、実際に巻きずしを作り、収穫した聖護院かぶらはお吸い物になりました。

宇治市から参加の小学生は、「自分で好きな具を入れた巻きずしを作れて楽しかったし、おいしかったです。明日は今日来れなかったお母さんの分を作りたいです」と感想を語ってくれました。

学生の活躍

京都大学でのファッションショーに参加

11月25日(日)に、大学生がゼロからファッションショーを作り上げるために結成された「BRUF(ブラフ)」が主催するイベント「BRUFNFASHIONSHOW2012」に、人文情報学科4学年の星田龍太さんが、ファッションデザイナーとして、服が好きで好きでたまらない気持ちや初々しさを7着の服に込めて参加しました。星田さんは19歳のころからファッションやデザインに興味を持つよ

うになり、人文情報学科で学びながら、バンタンデザイン研究所FTコースでファッションデザイナーとしての勉強もされてきました。

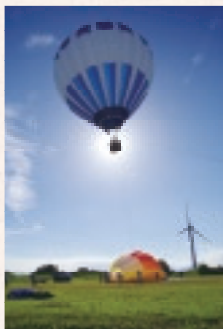


星田さん(右)と
同じ学科の友人でイベントに協力した
福田督司さん(人文情報学科第4学年)

京都新聞写真コンテストで優秀賞受賞!

京都新聞写真コンテスト「大好き!!京滋の風景」第11回において、哲学科第4学年の矢弘樹さんが、優秀賞(東映太秦映画村賞)を受賞しました。受賞作品の「かなたへ」は、熱気球が浮かぶ真夏の風景を撮影されたものであり、矢弘さんは今回の受賞に際して、「僕らの地元である大好きな滋賀県の風景が選ばれて嬉しいです。写真に写せるものは、目に映る広い世界のたった一部分だけですが、だからこそ伝えたいことがそこにはたくさん詰まっています。一枚の写

真から物語を読み取るように、そこに広がる景色や音を想像していただけたら嬉しいです。色々なものに目を向けて、これからも多くのことを写真で表現し、伝えていきたいです。」と語ってくれました。



優秀賞受賞作品
「かなたへ」

**新しい大学執行部体制が
スタートします**

「仏教精神に基づき、社会を主体的に生きるこ
とのできる人物を育成する」大学を目指すことを
宣言したグラントデザイン(以下、「中長期計画」と
いう。)にもとづき、本学では、今後の事業推進の基
盤となる大学運営に関する組織体制の検討を進め
てきました。その結果、2013年4月より、新し
い大学執行部体制がスタートいたします。

【主なポイント】

**1 「教育・学生支援」、「研究・国際交流」の
各部門を統括する担当副学長の設置**

教育・学生支援担当副学長、研究・国際交流担当副学長

**2 大学運営の重要事項について審議決定する
「学長会」の設置**

学長、学監、副学長、学監・事務局長、
教育・学生支援担当副学長、
研究・国際交流担当副学長の5名で構成

**3 中長期計画の立案・推進、大学の年次計画及び
日常業務の調整をおこなう
「大学運営会議」の設置**

学長、学監、副学長、学監・事務局長、
教育・学生支援担当副学長、研究・国際交流担当副学長、
学生部長、入学センター長、文学部長、大学院文学研究科長、
短期大学部長、企画・入試部事務部長、総務部事務部長、
学生支援部事務部長、教育研究支援部事務部長
の14名で構成

教育と学生支援、研究と国際交流を全学的な
視点で担当する副学長を置き、教育職員・事務職
員の協働による大学運営体制を構築することによ
り、迅速な意思決定と決定プロセスの透明化を実
現し、中長期計画で宣言した教育と学生の学修を
支える学生支援体制の実現を図っていきたくと考
えています。

2013年度イベント予定

若葉祭 4月6日(土)

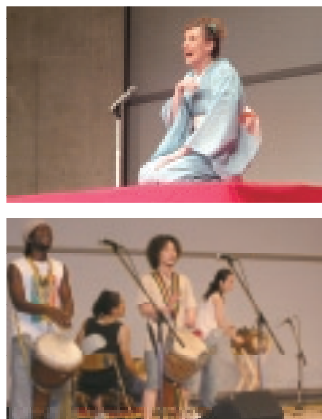
新入生に大谷大学のキャンパスライフを
知ってもらうための楽しいイベントです。
キャンパスは、クラブ・サークルの活動発
表や相談ブースなどでとてもにぎわい
ます。



課外教育行事

— 異文化との出会い —

課外教育行事—異文化との出会い—
は、世界の様々な文化を知ること目的
に、映画や音楽、講演を実施しています。
詳細については、日時や内容が決定次
第、ホームページや掲示などでお知らせ
します。



→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2013>

2013年度博物館開館予定

春季企画展

2013年4月1日(月)～5月18日(土)

大谷大学博物館の名品

秋季企画展 I

2013年9月10日(火)～9月28日(土)

新収蔵品展

*博物館実習生展併催

秋季企画展 II

2013年10月12日(土)～11月28日(木)

赤レンガ旧本館百周年記念

「赤レンガの学舎」

冬季企画展

2013年12月10日(火)～

2014年2月15日(土)

京都を学ぶ
京の町衆・
神田家とその蔵書

特別展

2013年6月11日(火)～8月5日(月)

伊能忠敬の日本図

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/01>

ENJOY!

ライフ

アフタースクールももっと楽しもう!
今回はキャンパスのすぐ近く
「伊藤珈琲」をご紹介します。
気軽に立ち寄れるのでぜひ出かけてみてね!

アットホームなほっこりカフェ「伊藤珈琲」。

明るくおしゃれな雰囲気の内は、
温かさあふれる照明で照らされていて、
居心地抜群!

今回私たちがご紹介するのは、以前、谷大オリジナルブレンド「Otani Coffee」の製作にも協力していただいた『伊藤珈琲』さんです。「Otani Coffee」のパッケージに使われている写真を撮ったのは、なんと大谷大学写真部OBの方!学生時代はお店の常連さんだったそうで、店内の壁にもその方が撮影した写真が飾られています。また、あちこちに飾られている小物類が、お店の落ち着いた雰囲気を引き立てています。これは、マスターの奥さんのこだわりによるものだそうです!

ゆっくり落ち着いて
会話も楽しめるネ!



スペシャルティコーヒーと シフォンケーキでほっと一息。

日替わりのスペシャルティコーヒーは、ストレートの珈琲豆から、マスターがおいしく淹れてくれます。「伊藤珈琲」のコーヒーは、フレッシュで軽い口当たり。コーヒーが苦手な人でも楽しめます。少し甘いものが欲しいな...というときには、一緒に季節のシフォンケーキはいかがでしょう?

めっちゃ
美味しそうやん!





今回は、 新入生歓迎実行委員会の 私たちがご紹介します!

私たちは、新入生歓迎実行委員会で一緒に活動しています。委員会活動はもちろんのこと、一緒に遊びに行ったり、ご飯を食べに行ったりします。委員の人数も多くないので、アットホームな関係で、いつも仲良く、和気あいあいとしています。

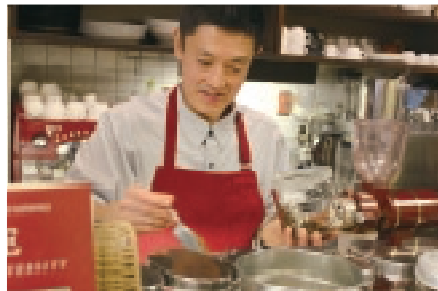
谷大

写真左より 湊 悠介(歴史学科第3学年)・榎谷 咲衣(歴史学科第2学年)・鈴木 瀬奈(文学科第3学年)・井上 立英(仏教学科第2学年)



決め手は「お湯の温度」! 沸騰させたお湯を ひと休みさせてあげよう。

挽きたての豆・粉を選りすぐり、ややぬるめのお湯をそっと注ぐのがポイント♪お湯の温度は、家庭でも実践できるのでオススメです。でもやっぱり一番は、自分好みのコーヒーを発見すること!味や風味など、自分だけのお気に入りのコーヒーを探してみてください。

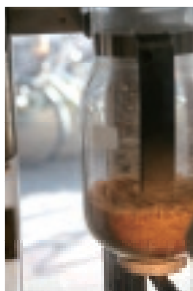


コーヒーの薫りに癒される♪



今回ご紹介したお店の情報はこちら!

- 店名 伊藤珈琲
- 住所 京都府京都市北区小山北上総町43-3 中道ビル1F
- 交通 地下鉄烏丸線「北大路」駅より徒歩2分
- 営業時間 7:00～19:00
- 定休日 火曜日
- 席数 48席
- ホームページ <http://www.ito-coffee.jp/>



お店の方々がとても優しくあたたかく迎えてくれます!



2012年度 大谷大学教育後援会「文芸奨励賞」

大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として本学の在学生を対象に文芸作品を募集し「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年度に創設された賞です。今年度のテーマは「今を生きる」でした。今年度のテーマは「今を生きる」でしたが私は東日本大震災に遭い、自分が生きるといふ事は常に死と共にあるという事を教えられました。そういう中から「今を生きる」というテーマのもとに263編の応募がありました。

自分の生きる道を見つけた人もおられました。「何を求めて生きているのか」「どう生きていいのかわからない」という叫びのような声が多かったように思います。文芸的表現も大切だと思いますが、私はわからないという不安、その間を共有し、その間を持つての学びこそが本学の学びであるという事を改めて感じさせてもらいました。

大谷大学教育後援会長 高橋 法信



文芸奨励賞表彰式 2012年11月24日(土)

テーマ

今を生きる

50字表現 受賞作品発表

*最優秀賞

文学部第1学年 教育・心理学科 間 世理花

産声を上げた瞬間から
たくさんの人の愛情を食べて
生きのびてきた私が
残された時間で
何を返せるのだろうか。

*優秀賞

文学部第1学年 文学科 田中 千瑛

数年前 雨が降った
数カ月前 植物が育った
数週間前 獣が生きた
数日前 その命が奪われた
今日 その命で生きる私

文学部第2学年 哲学科 山田 真照

子供の頃は
時計のことなんか忘れて
夢中で遊んでた
そこには「いま」だけがあった

*佳作

短期大学部第1学年 仏教科 大前 朝子

生涯学習を……と
一念発起
「今日も頑張つていでの」
母の応援がうれしい
私ね
今がとっても楽しいの

文学部第3学年 文学科 荻谷 美希

補聴器を付けると、
風、生き物の鳴き声、
車、音楽、音が入ってくる。
そこで私は生きているのだと実感する。

文学部第3学年 真宗学科 川野 晃斉

買って帰ったら喜ぶだろうなあ。
幼児の玩具を見かけると
つい顔が綻ぶ。
今はもう 喜んでは くないけれど。

文学部第3学年 社会学科 北澤 太紀

不況、災害、政治不信……
つらく、苦しい時代でも、
希望を捨てず生きていく
人の強さに、今を見る

文学部第2学年 歴史学科 小菅 聖

時間におわれていませんか
時間を作ってみませんか
見失っているものは
今この時と心です

文学部第3学年 歴史学科 杉本 志穂

つるつるとした赤ちゃんの手は生まれた証
皺だらけのおじいちゃんの手は生きた証
私の手は、「頑張る中」。

文学部第4学年 国際文化学科 玉置 智

手は父方の祖母に、
輪郭は母の父の母に、
考え方は父に、
文字は母に似ている。
こうして生きているんだ、今。

文学部第2学年 哲学科 松本 尚大

体はそこにあるけれど、
心はなぜかここにはない。
過去や未来を右往左往。

文学部第3学年 哲学科 森脇 優香

最近レジ打ちを覚えました。
あと、怖いものと許せないものが、
ほんの少しだけ減りました。
また連絡するね。

短期大学部第2学年 仏教科 八神 満喜

「どうにもならない私」を
投げだしたり
許したりを繰り返して
自分と向きあうこと。

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

人事情報

部科長等の交代

【学監・事務局長】
寺西 龍水

【教育・学生支援担当副学長】
【兼文学部部長】
ローズロバート F.

(前文学部部長)

【研究・国際交流担当副学長】
浅見 直一郎

(前真宗総合学術センター長)

【学生部長】
鈴木 寿志

(前学生部長 古川 哲史)

2013年4月1日付(各通)

館長等の交代

【真宗総合研究所主事】
藤田 義孝

(前真宗総合研究所主事 采翠晃)

【学寮長】
藤元 雅文

(前学寮長 富岡 量秀)

2013年4月1日付(各通)

定年退職

【教育職員】
岩淵 信明

(教授/文学部/教育・心理学科)

大内 文雄

(教授/文学部/歴史学科)

川村 覚昭

(教授/文学部/教育・心理学科)

木場 明志

(教授/文学部/歴史学科)

高山 芳治

(教授/文学部/教育・心理学科)

兵藤 一夫

(教授/文学部/仏教学科)

矢野 のり子

(教授/文学部/社会学科)

宮川 清司

(特別任用教授/文学部/文学科)

三谷 悦子

(任期制講師/文学部/教育・心理学科)

【事務系嘱託】
伊藤 三千夫

(企画・入試部)

2013年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

【教育職員】
安富 信哉

(特別任用教授/文学部/真宗学科)

大草 輝政

(任期制助教/文学部/哲学科)

許 秀美

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

工藤 克洋

(任期制助教/文学部/歴史学科)

松下 俊英

(任期制助教/文学部/仏教学科)

渡部 智也

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

井倉 あい

(事務系嘱託)

和泉 早保

(教育研究支援部)

臼井 理恵

(総務部)

榎川 みのり

(教育研究支援部)

川原崎 ふみ

(学生支援部)

北村 文代

(教育研究支援部)

坂田 恵美

(学生支援部)

山下 晶江

(総務部)

【寮監】
天山 信楽

(貫練学寮)

【教職アドバイザー】
細谷 僚一

(実習アドバイザー)

牧野 一元

(2013年3月31日付(各通))

依願退職

【学監・事務局長】
長谷岡 英信

(2013年3月31日付)

【教育職員】
山高 秀介

(任期制助教/文学部/真宗学科)

廣田 大地

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

友永 真美

(総務部)

村田 知子

(自灯学寮)

(2013年3月31日付)

新規採用

【学監・事務局長】
寺西 龍水

【教育職員】
木船 憲幸

(教授/文学部/教育・心理学科)

安田 誠人

(教授/短期大学部/幼児教育保育科)

岩淵 信明

(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)

川村 覚昭

(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)

高山 芳治

(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)

井川 利尾

(任期制講師/文学部/教育・心理学科)

足立 和彦

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

安藤 秀幸

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

上原 永子

(任期制助教/文学部/仏教学科)

大帥 啓

(任期制助教/文学部/歴史学科)

木島 菜菜子

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

難波 教行

(任期制助教/文学部/真宗学科)

古荘 匡義

(任期制助教/文学部/哲学科)

森 雅子

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

【事務系嘱託】
西村 陽貴

(企画・入試部)

山内 麻慈

(2013年4月1日付(各通))

【寮監】
長松 真見

(貫練学寮)

林田 真貴子

(自灯学寮)

吉川 栄一

(教職アドバイザー)

2013年4月1日付(各通)

昇格

【教授】
木越 康

(文学部/真宗学科)

志藤 修史

(文学部/社会学科)

古川 哲史

(文学部/国際文化学科)

【准教授】
大城 邦義

(短期大学部/幼児教育保育科)

岡村 明日香

(短期大学部/幼児教育保育科)

富岡 量秀

(短期大学部/幼児教育保育科)

三浦 誉史加

(文学部/国際文化学科)

2013年4月1日付(各通)



大帥 啓
(任期制助教/文学部/歴史学科)



上原 永子
(任期制助教/文学部/仏教学科)



安藤 秀幸
(任期制助教/文学部/国際文化学科)



足立 和彦
(任期制助教/文学部/国際文化学科)



井川 利尾
(任期制講師/文学部/教育・心理学科)



高山 芳治
(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)



川村 覚昭
(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)



岩淵 信明
(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)



安田 誠人
(教授/短期大学部/幼児教育保育科)



木船 憲幸
(教授/文学部/教育・心理学科)



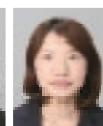
寺西 龍水
(学監・事務局長)



西山 沙織
(学生支援部)



中井 晴恵
(教育研究支援部)



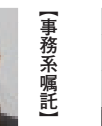
高峯 章子
(総務部)



上西 量子
(学生支援部)



石井 実穂
(教育研究支援部)



山内 麻慈
(企画・入試部)



西村 陽貴
(学生支援部)



吉川 栄一
(教職アドバイザー)



森 雅子
(任期制助教/文学部/国際文化学科)



古荘 匡義
(任期制助教/文学部/哲学科)



難波 教行
(任期制助教/文学部/真宗学科)



木島 菜菜子
(任期制助教/文学部/国際文化学科)



山田 まりえ
(教育研究支援部)



松石 亜也
(学生支援部)



福吉 朋恵
(総務部)



福岡 由佳子
(教育研究支援部)

2013年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2013年度の授業料のスライド率は、2012年度と同様に0.00%とし、据置きとします。また、教育施設改善のための施設費および大学院の授業料も据え置き、2012年度と同額とします。

本学では2011年に今後の10年を見据えたグランドデザインを発表いたしました。このグランドデザインの実現を目標にし、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために学生の皆さんの学費を有効に利用し、様々な事業を実施しています。

具体的には、グローバルな視野を持ち、社会で活躍できる学生の育成のために語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)での留学生と日本人学生との国際交流支援とともに、正課外の語学学習の実施など語学支援を進めています。教職支援センターでは、学校ボランティアのバックアップや地域交流行事の開催を通して、教員を目指す学生のための活動を強化していきます。一方、現況の厳しい就職環境に対応したガイダンス・セミナー・講習の実施など、キャリア支援を強化し、学生のニーズに応じた支援活動に取り組んでまいります。また、情報教育の分野では人文情報学科でのiPadを配布しての教育を引き続き実施するとともに、情報処理教室等の

設備・機材を更改していきます。

他方、施設面ではトイレの改修やバリアフリー化を継続して実施していきます。本学に在籍する学生の皆さんが、キャンパスの中で様々な学びや出会いによつてさらに充実したキャンパスライフを過ごせるよう、今後とも整備を進めてまいります。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。前期学生納付金の納入期限は、4月22日(月)〔後期は9月30日(月)〕〔銀行受付日付有効〕です。振込依頼書は、保証人(学費負担者)宛に4月1日〔後期は8月末頃〕に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので、ご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月22日(月)〔後期は9月30日(月)〕までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要となります。ご留意ください。

2013年度学生納付金一覧			学 費		その他の費用					合計額
			授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会入会金	※同窓会終身会費	
前期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000			366,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000			
後期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000	366,000		
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000	

※ 本学では、学費のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用していますが、2013年度は据置きとしています。

※ 文学部第4学年・短期大学部第2学年・大学院修士課程第2学年・大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。

※ 休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円(学部学科共通)の納入が必要です。納入期日は、4月22日(月)〔後期は9月30日(月)〕です(締切日厳守)。

※ 修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

教育後援会だより

2012年度 父母兄弟懇談会開催報告

9月22日(土)、大谷大学において「全国父母兄弟懇談会」が開催されました。講堂では、本会開催の趣旨や大学の現況が報告され、キャリアセンターからは就職状況について説明がなされました。

その後、博覧館5階へ会場を移し、個別相談会を実施いたしました。個別相談会では、「成績・進級」「進路・就職」「学生生活」等のコーナーが設けられ、ご父母兄弟から熱心な相談が多く寄せられました。

同時刻には、「教員との個別懇談会」も実施され、多くのご父母兄弟と教員が直接懇談されました。また、ご父母兄弟同士が交流する場ともなり、とても和やかな雰囲気の中、有意義な懇談会となりました。

また、7月には福井市、金沢市において「北陸地区父母兄弟懇談会」を開催、さらに12月には福岡市、鹿児島市において「九州地区父母兄弟懇談会」が開催され、学長はじめ学監・副学長など、大学教職員が赴き、当該地区の方々とじっくり懇談できる貴重な時間となりました。



全国父母兄弟懇談会の様子



九州地区父母兄弟懇談会の様子

2012年度 教育後援会事業について(報告)

2012年度の主な事業につきましては、教育後援会の趣旨に基づき、キャリア・就職支援としての各種模試・セミナー等に対する補助、奨学金・奨励賞の給付・貸与、食堂のセットメニューや日替わりパンへの補助、クラブ・サークル運営費や連盟加盟費等の一部補助、父母兄弟懇談会開催等の活動がなされました。

*詳しくは、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

◆2013年度行事の開催案内

評議員会	6月27日(木)	大谷大学
信越地区 父母兄弟懇談会	7月15日(月・祝)	ホテルメトロポリタン長野 (長野県長野市)
	7月16日(火)	チサンホテル& コンファレンスセンター新潟 (新潟県新潟市)
全国 父母兄弟懇談会	9月21日(土)	大谷大学
中国地区 父母兄弟懇談会	12月7日(土)	リーガロイヤルホテル広島 (広島県広島市)
	12月8日(日)	ラヴィール岡山(岡山県岡山市)

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました募金は、教育・研究の充実に活用するための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けておりますので、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方

の税法上の優遇措置を受けることができます。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、2012年8月1日から2013年1月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

教育振興資金寄付者(敬称略)

浅田 純 (長崎県)	村田 徳治 (高知県)
天山 敬信 (愛知県)	山田 博隆 (愛知県)
板先 達 (秋田県)	山本 起義 (大阪府)
小原 博昭 (鹿児島県)	匿名 [9名]
加藤 博文 (愛知県)	NPO法人尋源舎 (京都府)
加茂 博史 (福井県)	円徳寺「藤谷 伸宏」(山形県)
木枝 宏行 (京都府)	
桑原 英世 (栃木県)	
小森 輝之 (京都府)	
佐長 光祥 (香川県)	
樽谷 和幸 (広島県)	
長尾 良正 (福岡県)	
難波 明則 (大阪府)	
長谷岡 英信 (兵庫県)	
三井 英俊 (愛知県)	
三輪 國典 (大分県)	

- ◆ 件数 30件
- ◆ 寄付金総額 1,970,000円

●お問い合わせ先 教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内

TEL : 075-411-8124 FAX : 075-411-8157

E-mail : kouyu@sec.otani.ac.jp

贅 沢

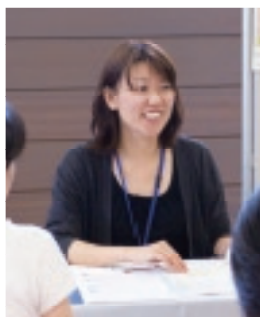
最近、我が家に「緑色の車」がやってきた。この小さくて古い英国車、とてもカワイイのであるが燃費が悪い。小さいくせに普通車で、なおかつ、ハイオクを要求する。もちろん、窓の開け閉めはハンドルをグルグル回すタイプであるし、ドアの鍵もドアごとにはかけなければならぬ。「エアコン」はなく、「暖房」は動いたが、「冷房」はどうだろうか。夏まで待つてみないとわからない。その上、壊れやすいらしい。

「車」がやってきてすぐのある雨の日のこと。ちよつと離れたスーパーへ買い物に出かけた帰りの車中、窓が猛烈に曇りだした。前後左右とも曇ってしまった、とにかく外が見えない。拭いても拭いても、すぐに真っ白になる。夜のことでもあり、助手席にいた私にもいかに危険かはわかった。そのうちに水温計の針がオーバーヒートを示す。仕方がないので、ときどき停まりながら帰った。オーバーヒートはすぐに修理してもらい、窓には曇り止めを塗ってみた。

なぜこのような車を購入してしまったのか、と後悔しても不思議ではない状況であるが、かえっておもしろいと感じている自分がある。この車の反応に付き

合うことが、なんだかおもしろい。そもそも手間がかかるということは、なにも悪いことばかりではない。

忙しい日々の中、手間暇がかからず便利になるのは大変ありがたい。お掃除ロボットがクルクル部屋を巡回し、お風呂を沸かすのもボタン一つで完了する。コンビニ、スーパー、ネットで24時間いつでも便利に買い物ができる。しかし、こんな「便利さ」を追求する生き方に少し疲れてきたのかもしれない。それよりも丁寧なモノと付き合い、対話するかのようには手間暇かける。たとえば、古い家具や鍋、革靴を日々手入れし、修理してもらいながら何十年も使う。本当に気に入ったモノを手に入れ、手間や時間をかけることはかえって「贅沢」と言えるだろう。このような「贅沢」を少しずつ味わってみたい。



短期大学部幼児教育保育科 講師
西村 美紀
専門分野 / 教育学・異文化間教育学

時代を照らす仏教のことば

少欲しょうよくにして

足るたを知る

『涅槃経』師子吼菩薩品

編集後記

今回からスタートした「ENJOY! 谷大ライフ」は、学生自身が写真撮影・取材した内容から、誌面を編集しています。慣れない取材で大変そうでしたが、無事やり遂げてくれました。彼らが主催する新人生歓迎イベント「若葉祭」の成功を願っています。

(編集担当)



解説文は…
大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/0412>